

産医補償第6号
平成26年4月14日

関係団体の長 殿

公益財団法人日本医療機能評価機構

理事・産科医療補償制度事業管理者 上田 茂

産科医療補償制度再発防止委員会委員長 池ノ上 克

「第4回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」の送付について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は産科医療補償制度の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成21年1月に発足した産科医療補償制度は、分娩に関連して発症した重度脳性麻痺児とそのご家族の経済的負担を速やかに補償するとともに、原因分析を行い、同じような事例の再発防止に資する情報を提供することなどにより、紛争の防止・早期解決および産科医療の質の向上を図ることを目的としております。

その中で、再発防止委員会においては、複数の事例を体系的に整理・蓄積して分析し、再発防止に関する報告書を取りまとめ、分娩機関、関係学会・団体、行政機関等に提供を行っております。

この度、再発防止委員会において、平成25年12月末までに公表した原因分析報告書319件について再発防止に関する分析を行い、再発防止策等の提言などを記載した「第4回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」を取りまとめたので送付申し上げます。

産科医療の質の向上に向けて、本報告書をご活用いただきますよう宜しくお願いいたします。

また、本報告書は本制度ホームページ (<http://www.sanka-hp.jcqh.or.jp/>) にも掲載しております。

今後とも、産科医療補償制度につきまして、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、今後益々のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

